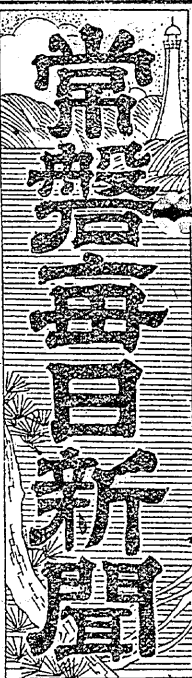


刊夕日二月二



定価 一月五錢 三月十五錢 半年三十錢 一年六十錢
廣告料 五字一錢 十字二錢 二十字三錢 三十字四錢 四十字五錢 五十字六錢 六十字七錢 七十字八錢 八十字九錢 九十字一圓
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常磐高日新聞社
印刷所 常磐高日新聞印刷株式会社

彌陀と法華

眞繼雲山

『夕立や法華かけ込む阿彌陀堂』といふ句がある。これは法華宗と阿彌陀宗との氷炭相容れぬ仲の悪るさを諷したのであるこの二宗はそれほどに教理が相隔たつてゐるものと昔から目せられてゐる。

簡単にこれを一瞥してみても、法華經は現世をそのまゝ寂光淨土に理想化しやうとするのに反して、彌陀宗は一應、現世を穢土と見限りてこれを塵離し、彼の西方淨土を欣求すべしとする。また法華經は、阿彌陀如来を以て方便の所説となし一實乘にはたゞ本佛としての釋尊あるのみと説くのに反して、阿彌陀宗では釋尊とは阿彌陀佛の紹介者以外ならぬ、釋尊も亦た阿彌陀如来の攝化を蒙らるゝ一人でありとし彌陀一尊主のみ禮拜して他の諸佛を顧みない一向一途の信仰こそが釋尊の御本意に叶ひ奉る所以であるとして、その佛壇には釋迦如来をすら祭らないといふ徹底さである。

しかし、これ等は、實はといへば餘りにも枝葉末節に拘つた似きがあり、その本旨は嚴として一限してゐると思はれる。

それは法華宗の生命たる壽量品に現はれた久遠實成の本佛とは釋尊のことであるも、それは應身佛に對しての尊稱である。その應身佛示寂後の尊稱報身佛であつて謂はゆる阿彌陀如来である。これを逆觀して阿彌陀如来が、その慈悲門を宣説するために化をされたものが曰く釋尊である。

三身即一の教理を以て拜するるとき二宗の本をば一つ流れに立つた應車佛としてのしやそんを中心として拜するか報身佛たる阿彌陀如来を本位にして信ずるかの相違に過ぎない。佛教は依法として眞實を説く一教である。

▼信力と佛力
法華經壽量品には『一心に佛を見たてまつらんとして自ら身命を惜まず』といふ有名な一句がある。その『不自惜身命』の五句こそ佛教の玄底に徹した眞韻であると思はれるが、現代人は概ね身命を惜んでゐる。人あつて若し佛を見たてまつることを得るならば、その人は佛と一つになつてゐるのである。それを即身成佛といふであらう。

佛と衆生とは一つのものか別々のものか、華嚴教には心佛衆生是三無差別とあつて、心と佛と衆生との三つは差別なし、即ち一つのものだと説かれてゐる。即ちそれは一心が悟れば佛となり、迷へば衆生となるの謂ひである。

同じ華嚴經には『日出て日光を見る』とあり、誰れしも日光を見るのは眼の力だと思ふてゐるが、日輪が昇らねば見えるものでなく、暗室に眼を開くととも日輪は拜されぬ。昇つた日輪に對して開いた眼が一致した時にのみ日光は拜される。

同い筆法を以てかなたの悲力と、こなたの信心とが合致した時においてのみ人間は佛を見たてまつり得るのである。

而かも兩眼ありとも日輪昇らば日光は拜し得ずとせば、佛を見たてまつるは信心の力ではなくしてぶつ力の加被によるものなること論せずして明らかであらう。

難波醫院

平町新川町
【釜屋新宅向】
電話五〇二番

當方地に於ける
タクシー界のナンバーワン
最高級車プリモス號増車致しました
何卒御用命の程御願ひ致します
電話二九五番
セリザワタクシー

冬服衒心

紺色柄物……三ッ揃……拾貳圓
最新柄……三ッ揃……拾三圓五十錢
スゴッチ……三ッ揃……拾六圓五十錢
最上紺黒……三ッ揃……拾九圓
高級品……三ッ揃……拾九圓
平町正札堂洋服店 電話四三六

玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

度量衡、計量器、吸入
用酸素、酸素吸入器

關内藥局

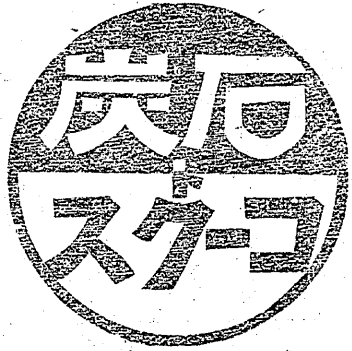
電話四〇番

お茶の値下斷行

本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ
煎茶四十目袋入 十錢より五十錢まで
ほうじ茶四十目袋入 十五錢
香りのよい家庭徳用別焙



配 平町三丁目 風味、平町三丁目 大勝園 本産 鈴木義志 電話二九五番 速 達



まあ！
よく、此の品が
こんなにも。お安く
頂けますこと
わたし
お隣ひもりへ
お奨め
しませうかしら

（良い品を安く賣る店）

阿部石炭商店

電話二三七番

人口の三分の一が 販賣利用の組合員

出資額は有数の會社に匹敵 短期間に長足の進展

石城販賣利用組合では従來各町村の産業組合設立を奨励しつつあつた結果昨年度迄に設立を見た組合數廿六を算して居るが其内、是等組合の内容を調査した結果組合員は郡下人口の三分の一を越へ、其出資額も郡下有数の諸會社に匹敵する迄に至つて居るといふ尙廿五組合の合計内容は左の如くである

△出資總額	八五、四〇〇圓
△拂込濟出資金	五九、七二〇圓
△準備金及諸積立金	二五、〇七〇圓
△借入金	四〇、一五〇圓
△貸付金	一、三三、三三〇圓
△販賣高	一七、九八〇圓
△購買高	三六、八五〇圓
△利用料	三、五五〇圓
△預ケ金	二八、二五〇圓
△有價證券	五、四〇〇圓
△現金	三、七四〇圓

石城郡下の金融

貸出三百萬圓

平外廿町村の信用組合業績

平町外二十ヶ町村の信用組合における昨年中の貸出額は平町の三十二萬圓を筆頭に合計で百三十一萬九千五百八十一圓四十五錢の巨額に達してゐるが假りに農工と普通銀行との他特殊金融機關の分を合すればおそらく石城郡下だけで三百萬圓の貸出額になるものと見られてゐる

蒟蒻はジリ安

東京の間屋筋が 買入を中止して

石城郡田人石住地方山間部の生産よりも力こぶを入れ落に於ける特産として米

つたが此の値段が絶頂らしく其後次第に低下し初め今では一駄百圓位迄に下つた殊に最近では工業用蒟蒻の需要が中絶の姿である爲め従來迄蒟蒻の仕入を行つて居た東京方面の間屋筋が在庫品の仕未に窮して仕入を中止した爲め前記山間部落の出産者も蒟蒻の仕未に窮つて居る有様である

條件付で 政府米を拂下ぐ

農村は此の時とばかり ドン／＼許可申請

既報、郡下各町村産業組合員が政府古米の拂ひ下追加申請をなし一先づ不許可となつた處再三運動をした結果古米の轉賣をせぬ條件付にて第二回の拂下を許可する事になつたので此の時とばかり泉信用組合は廿噸、渡邊組合が十噸、其れに新たに入遠野組合でも十噸を一日付を以つて縣へ申請し、いづれも許可された

町村長會

既報、本日の石城町村長總會は町役場會議室に於いて村井知事臨席の許に午前十時から開かれたが同支會本年度豫算は總計二千五百圓にて昨年度より十圓の増額を見た

言論戦

五、六日頃から 事務所を大和屋に

立候補確定した政友派鈴木辰三郎氏の事務所は南町大和屋に設けられたが鈴木候補は目下幹事長としての縣下の同志を督勵し南船北馬大活動中にて四日頃歸平の豫定である

奔騰する米價

一躍九圓臺に 大浦村の共同販賣 次回は十圓突破か

大浦倉庫の共同販賣は昨日同所に於いて行はれ四等百八十一俵五等百八十九俵等外七俵を入札に附した結果四等建値九圓十四錢、五等八圓九十四錢等外八圓七十四錢を以つて全部湯本町入山炭礦糧食部に落札されたが前回より一躍二十七錢高ではの分では次回入札に十圓台を突破するであらう

撞球界——最初の催し

初キユー撞切
五連勝
七連負
ポチ袋
差上マス

ビリヤード 一の井

井の 商品切手

番 八 四
三 二 八
平 三 電

節分豆蒔式次第

二月四日 縣社子歛會 神社々頭に執行仕候

普通會費金二十錢

(御加入の方には、家内安全祈禱
御神札、福豆、御神酒呈上)

特別會費(男)金五圓

(御祈禱札、福升、福豆、
本膳(引物)付仕度料も含む)

主催 石城福和內會

御用印刷物の總代理
常磐日報印刷株式會社
電話 〇三六番

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話 三〇七番

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
電話 一七〇番

美人女工數名が 煙草製作を實演

遞信省は郵便局を特設 陸海軍省からは戦利品

産業博の人氣沸騰

不景氣退治の大計劃として各方面から期待される昭和博覽會は其後他地方よりの出品物の齒を引くが如く殺到し是れが受付に係員は忙殺されて居るが政府筋より出陳として陸海軍兩省の今回の滿洲事變を中心とする戦利品、其他装甲自動車、タンク等の新武器を初め兵事關係の陳列品は時節柄人の眼を引くものと見られて居るが就中遞信省にては場

物凄いや意氣込で

景品付の商戰術

本町通に人雪崩の雜路 平署の眼が光る

平町の商店街では舊曆歳末も剩すところ此處數日の決算期となつたので顧客の吸收到大童となり本町筋は軒毎に赤旗をはためかせ福引景品付で大廉賣、大投賣の商戰術を以て在庫品の整理を開始し從來の欲損を補填しやうと物凄いや意氣込みを見せ恒例の舊二日の買初めも例年通り人雪崩の大雜沓を呈すものと觀られてゐる

小川消防組が

校庭の土盛

正月休みに

石城郡上小川村小學校及び下小川分教所の校庭が最近土盛りをせぬ爲め凹凸甚し

平署の去月統計

矢張り最高は窃盜

平署の本年一月中に取扱つた犯罪事件數及び檢擧事件數のうちの最高は矢張り窃盜の六十七件人員廿一名で、次は横領五件(五名)、森林法違反の四件(四名)、賭博の二件(廿七名)、傷害三件(四名)、其他總計に於いて百十七件(八十一名)の檢擧を見て居ると

卓球チーム 平町丸 對抗で試合 友商店

運動具部主催の第一回縣下卓球大會は本月十四日午前八時より同店ホールに於いて行はれるが同選手權大會は從來餘り見られぬ三名を以て一組とするチーム對抗試合で、郡下は勿論縣下各地よりも申込を受け優勝チームには銀製大カップ其他を贈る筈

傳染病發生數

前年より減少

平町に於ける昨年度傳染病患者の發生數は腸チブス廿九名、赤痢十九名、疫痢二名、猩紅熱八名、合計五十八名に達し前年度より幾分減少を見て居ると、尙明治卅九年以來六年度迄の傳染病患者數及び死亡數は左の如くである

病名	發生	死亡
腸チブス	一〇三	二五
赤痢	一〇	元
疫痢	三	三
猩紅熱	三	一
デフテリア	六	二五
發疹チブス	元	二

櫻も三月下旬開花か

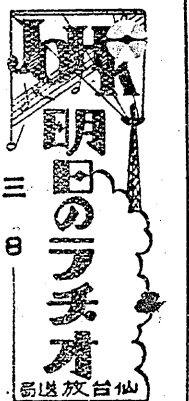
雪も降らず永も張らぬ 柳の芽はふくらんだ

石城地方における今年の暖かさは何年にもないこととて寒に入つてから雨も降らなければ雪も見ず永もあまり張らぬと言つた珍らしきで柳の芽などは非常に大きく

求職者を装つて 鶏専門に賊を働く

天運盡きて遂に就縛

石城郡平窪村大字四波字三反田生れ無職小野清一(三九)は昨年五月中内郷村大字綴鈴木兼太郎方で飼養中の鶏四羽を窃取したのを手初めに去月廿三日平窪村字中平窪矢吹雄吉方より鶏三羽、同廿七日にも同村字四波の



朝霧氣天

今夜も明日も北西の風晴れたり曇つたり

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間)ギターの物語と獨奏、お高橋功、獨奏、永田謙
後七、三〇(趣味講演)「趣味の白河話」大谷五花村
後八、〇〇(長唄)「吾妻八景」松永和風外
後八、三〇(歌澤)「淡雪」

明日の部

前九、一〇(料理献立)「牡蠣の土手焼」鍋辰木ナカ

貧困老婆が 救済を辭退

他のお困りの方へ 受けぬ情け

平町同潤會にては舊年來並に舊正月の迫つた折として約四十名の貧困者に一人一圓五十錢の劃を以つて支給し感謝されて居たが本日某委員が五丁目方面に出掛け受持區内の酒井某と云ふ獨身の老母に救済金を渡した處同人は感謝しながらも、「自分は何んとかして暮しますから他のお困りの方へお渡し下さい」と云つて受け取らず遂に委員は其救済金を持歸つたと

平職業紹介所報告

求人部
△女中、廿才前後、尋卒、月給七八圓位(赤井村某)
△出前持、廿才位、尋卒、給料面談(平町某料理店)

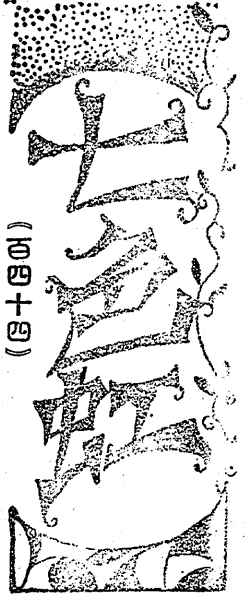
藤沼醫院

科病柳花科兒小科内
院醫沼藤
應需院入

平町電話
五〇七番

△砂利採取、六十才以下、日給六十錢位(好間村某)
△女中、廿歳以下、尋卒、給料面談(平町某)
△求職之部
△雜夫、廿五歳、尋卒、縁料面談、(安積郡某)
△店員、廿八歳、高卒、給料面談(久保町某)
△事務員、廿八歳、鐵道學校卒業、給料面談(平町某)
△賣子、卅六歳、高卒給料面談(福岡市某)

小説



【載轉禁】

渡邊黙禪 作
布施平八郎 畫

お通 夜 (7)
息のあるうちは飽まであんな方の爲に盡すのは勿論例令出家の法に悖るといつて破門されても、一旦懲うと思込んだ男の一念は、悪魔になつても蛇になつても必と打徹してお目にかけてや

負けもしねえのに負つちまうのは却腹ぢやねえかといふお言葉がござえましたが負るが勝で、負た見せて勝つてやる、時機もござえやせう。
『わしは瓢箪浮身ぢやけれど主は鯨のとり所さ、いくらぬらりくらりの私だつて締るところはしつかり締つてゐるつもりだ。少し考へもあるこつてげすから、まあ、如何するか長え目で見とおのてなさいやし』
『懲う言はれて兄妹は威程然うかと思つた。』
『いや、さういふ腹ならいゝがね例のチョツカイでまたやりそくなりあしないかと思つたもんだから』
源之助がいふ尾について千代子が
『だけでも爺や、歌ちやんにその話をしたの、承知をさせての上ならいゝけれど、後で怨みはいはれ』



たんですが、昨夕出たツキり歸つて來ねえといふので皆な青くなつて心配してゐましたよ。
何でもこれには入組んだ事情が...事に依つたらどツかへ持つていかれたんぢやねえかと思つてるんでげす。どうも出ていく時の様

子が變でねえ
『へえ。如何様子だつたねえ』
『それは...』
といひかけた時庭一ツ隔てた母家の方から、魂をそしるやうな鐘の音が哀れに響いて來た。
清作は耳をたてて
『おや、お念佛が始まつたやうだ餘り餘談をしても何てすから御一緒に階下へ降りてお通夜をしようぢやごあせんか。』
『南無阿彌陀佛〜』
憶ひ出したやうに珠數を取直して椅子から立揚がつ

一時は自分の体がどうなることかと心柱立つほどの恐怖に囚われたけれども、それでも時が絶つにつれ次第に周囲の状況が分つて來ると、何のこんな奴にといふ我慢氣も出て來て、大膽に相手の男を見送るやうになつた。
夜目に白く光つてゐる池のやうな眸をがさ〜と草叢をかき分けて、兇暴な男だちに曳摺込まれた家は庭に向つて縁の廻つた八疊座敷だつた。
其處に電燈が只一つ淋しく光つてゐた。
近所の小料理屋からでも取寄せたらしい柳川だのつゝさ荒した牛鍋だの、箆に入れたまゝの葱だのが出てゐた、麥酒の壺が右に仆れてゐれば茶碗が左へ轉がつてゐたり、殺風景なものだつた。

誠に便利な
商 品 券
金額の多少に不拘調製致します
平町南町
鳥 商 鳥 菊
四五人の荒くれ男どもに拉し去られた歌治はその晩から空家のなかで恐ろしい目に遭はされた。
歌治は今までのうちに此様な薄氣味の悪い思ひをさせられた。はなかつた。

優良にして徳用經濟なる
特製店のハカリ賣り
ポマード及クリームの御使用をおすすめいたします
純植物性 ポマード
純良なる椿油を以て精製したるもので石鹼で一度洗ひばサラリと落ちます
弊店で友達や知人によつて試めした上の自慢の製品です一度お使用を願ひます
高級 クリーム
今まで、ハカリ賣りクリームと云ふと、瓶詰クリームより悪いとの定評でありましたが、このクリームはその様なこと絶對ありません
弊店特製...保證の品です、お最負を願ひます。瓶詰よりは随分お徳です。
粹 正椿油
髪油の撰擇は充分御注意を拂はねばなりません、粗悪なる油の御使用は髪のため却つて非常なる弊害を來します。安心して御使用の出來る當店取扱の正椿油(一合六十錢)の御使用をおすすめいたします
大島 特産
正椿油特約販賣店
田卷香油店
平二丁目 電話四一〇番
各種香油

高橋時計店
精幸堂 號
平町才植小路

吉田眼科病院
平町屋町、電話六八番
拜啓 寒冷の候貴台益々御清榮の段奉慶賀候、陳者今回家事都合に依り突然鎌田町の自宅に移轉仕候間何卒今後も倍舊の御交誼願上度く實は早速拜趨御挨拶可申上處轉居早々の事として混雜中に付き乍略儀不取敢以書中御通知迄如斯御座候 匆々
荒川 銀 治
昭和七年一月二十九日

舊 二十一日ヨリ 二十八日マデ
二年 未 奉 在
二割大引賣出
掛時計及目覺時計は元價販賣に付割引無
星野時計店
平三丁目驛前通り
市原醫院
平町田町 電話一四番